

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援ルームらいく穂波店		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 4日		2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2025年 1月 4日		2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ブレイルームが広く、運動療育でのアプローチが十分に 行える	広い空間を活かしたサーキットや、鬼ごっこ、ボール遊 びなどでお子様の感覚ニーズに合わせた運動の実施	お子様の感覚統合に適した遊具の購入及び作成。 年齢や運動レベルに合わせた遊びのバリエーションを 増やしていく。
2	活動プログラムが固定化されていない	同じ遊びでも、目的に合わせてルールや使用する道具を 変えることで内容が固定化されないようにしている。	お子様の状況や保護者のニーズに合わせて、柔軟にプ ランを組み替えていく。
3	活動の最後に必ずフィードバックを行っている	実施した活動内容の説明だけでなく、自宅でもできるト レーニング方法やアドバイスをを行っている。	説明する際には専門的な用語を出来るだけ使用せず、 分かりやすい言葉選びを意識する。また、フィード バックの時以外にも保護者との面談の時間を設け、自 宅や学校での様子を詳しく把握しサービスに活かせる ように努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別療育のみしか行っていないため、他児との関りがな い	集団療育の経験がないスタッフのみであり、グループ内 の他事業所も基本個別療育のみのため、情報が得られに くく集団療育を行うことが難しい。	・集団療育を行っている事業所に見学に行き、検討す る。 ・イベントを行い、兄弟児や他児と関わる機会を作っ ていく。
2	家族向けの研修がない	・保護者のニーズがそれぞれ異なり、どのような点で研 修を行えばいいかわからない。 ・経験の浅いスタッフが多く、研修を行うにあたって保護 者の抱える様々な問題を解決し、アドバイスを行うため の知識が不足している。	・アンケートなどで研修を行ってほしい保護者のニー ズを確認し、要望の多い項目を中心に研修を検討して いく。 ・研修の項目に合わせて必要な知識を持ち合わせてい る外部講師を招き、実施していく。
3	SNS等を十分に活かした情報発信が出来ていない	SNSを行っている事を知らない方が多く、保護者や関係 機関への周知が上手くできていない。	・利用者へSNSでイベント情報やスケジュール表など 役立つ情報を発信していることを伝え、認識してもら う。 ・担当者会議など他の関係機関が集まるタイミングで SNSの情報を周知していく。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 発達支援ルーム らいく穂波店

公表日 2025年4月1日

利用児童

数 17名

回収数 17

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	0	0	0	運動の部屋がとても広く、満足している	未就学児のお子様から小学生以上のお子様まで十分に身体を動かすスペースがあります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	0	0	0	ちょうどよい	人員の配置基準を満たしています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化とバリアフリー化に近づいていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	0	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	0	0	0	清潔感があり、過ごしやすい	毎朝清掃をしております。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	0	0	0	専門的なプランで活動を行ってらっている	個々のニーズや課題を把握し、専門職を中心にプランを考え提供しています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	0	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	1	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	0	0	0	説明していただいた内容で支援をいただいています	計画の内容を職員全員に共有し、支援を行っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	0	0	0	毎回違う活動で子供も楽しんでいる	子供たちが意欲的に活動に取り組めるように、活動内容を工夫しています。
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	2	1	5		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	1	0	0	最初の契約の時に説明してもらいました	初回の契約の際に丁寧に説明を行っています。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	2	0	7		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	1	0	0	活動の最後に毎回相談させてもらっています	活動終了後にフィードバックを行い、課題の再確認やアドバイス等をさせていただきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	3	0	0	色々なアドバイスをいただいています。	フィードバックでの情報共有や必要に応じて時間を作り面談や相談対応を行っています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	0	0	0		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	7	3	0	7	参加したことがありません。	現在、父母の会や兄弟同士の関わる場は設けておりません。今後、必要であれば検討していきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	3	0	6	Instagramで行事やスケジュールなどの情報を確認しています。	Instagramで1月ごとのスケジュールや行事予定を発信しています。またホームページに自己評価結果を公表して
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、初動マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1	1	4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	1	1	8	していると思います。	当事業所が個別療育ということもあり、利用者様全員に対して訓練を実施することが困難なため、基本スタッフのみで行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	2	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1	0	3	・契約の時に説明していただきました。 ・緊急時の対応について張り紙があります。	事故や怪我が起きた際のマニュアルを作成し、流れについては事業所に掲示しています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	0	0	0	子供もらくの日を覚えているようで楽しみにしています。	ありがとうございます。今後も楽しんでいただけるプランをご用意させていただきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	0	0	0	満足しています。いつもありがとうございます。	今後も皆様に満足していただけるサービスを提供していきます。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 発達支援ルーム らいく穂波店

公表日 2025年 4月 1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	運動のプレイルーム、学習室ともに十分なスペースを確保しています	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3	配置基準を満たしています。	職員の不足
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	段差などなく、お子様やご家族にも配慮した環境になっています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎朝清掃をしています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	個別療育のみ行っており、お子様1人1人に合わせた環境になっています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	個別支援計画や専門支援計画などで目標を設定し、スタッフ全員が共有できるようにしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	日頃のアセスメントや保護者向け評価表で意向を確認しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	定期的にスタッフミーティングを行い、業務改善への取り組みを共有しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	現在、第三者による評価は行っておりません	第三者による外部評価を検討していく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	外部の研修など積極的に取り入れています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	支援プログラムを作成し、公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	計画を作成する前に個別にアセスメントを取り、ニーズや課題を把握しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	児発管だけでなく他のスタッフの意見も参考にしながら計画を作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	スタッフ全員が計画を確認し、プログラムに組み込んでいます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化したツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		
	16	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	ガイドラインの内容に沿って計画を作成するようにしています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	利用児ごとに計画書で目標の共通理解を行い、プログラムを考えています。	スタッフ間での意見交換の機会を増やす

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	ルールなどを変え、お子様が楽しんで参加できるように工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	基本個別療育のみを行っておりますが、ニーズがあれば集団療育も取り入れていきます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	3	共有が必要な時は事前に打ち合わせを行っております。	毎回の打ち合わせは出来ていないため、なるべく時間をとって打ち合わせを行い、支援を行っていく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	支援の様子や内容を詳しく記録に残し、全員が確認できるようにしています。	記録での共有だけでなく、直接意見を共有する時間を設けていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	支援終了後に必ず記録を取っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	3か月に1回程度モニタリングを行い、計画の見直しを行っております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	その時に子供の状況を一番把握できているスタッフが参加するようにしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	担当者会議や電話などで他事業所や園、学校との連携をとっています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	以降に向けた支援を必要に応じて取り入れています。また担当者会議などで支援内容の共有を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	保護者の要望があれば情報提供書を作成し、小学校に提供しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	5	児童発達支援センターと関わる機会は現在ありません。	今後、児童発達支援センターとの関りも検討していく
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	個別療育のみ行っているため、他のお子様と関わる機会はありません。	他の事業所との連携の中で必要に応じて、他児と関わる機会を検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	活動終了後に毎回フィードバックを行い、現状を確認し課題等の共通理解を行っております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	フィードバックの時や個別支援計画の説明の際に自宅でも取り組めるトレーニングを紹介しています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	初回契約時に説明を行っています。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	日頃のフィードバックや、定期的にとっているアセスメントを通して意向を確認しています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	計画を渡す時には保護者にわかりやすく説明を行い、同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	保護者からの要望に応じてアドバイスや相談対応を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	保護者会等は現在行っていません。必要であれば検討していきます。	利用児の兄弟同士の関りがあるイベントなどを検討していく
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	相談などがあった際に対応できるように責任者を選任しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	イベントや1か月ごとのスケジュールなどSNSで定期的に発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報に記載しているものは全てロッカーに鍵をかけて保管しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	利用者に合わせたコミュニケーションを行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	地域の方々を招くイベントは現在行っておりません。必要に応じて検討していきます。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	マニュアルを策定し、訓練を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	BCPを策定し、定期的に避難訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	利用前のアセスメントにて保護者に確認を行っております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	4	食事の提供を行っていません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画を作成し、安全管理に配慮した運営を行っております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	取組み内容を掲示して、周知していきます。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハットがあった際は職員間で共有し、再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待防止のための研修を定期的に行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	契約の際に重要事項説明書に記載し、周知しています。		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援ルーム らいく穂波店		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 4日		2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 50
○従業者評価実施期間	2025年 1月 4日		2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ブレイルームが広く、運動療育でのアプローチが十分に行える。	学校の体育で行われる跳び箱、縄跳び、鉄棒などの運動も取り入れ、お子様のペースに合わせて練習を行っている。	保護者や学校との情報共有により、お子様の苦手な運動課題を把握し、スモールステップで取り入れ、成功体験を積む事で自己肯定感の向上に繋げていく。
2	専門職によるアドバイスや自宅で取り組めるメニューの提供。	学習時の姿勢の崩れや運動時の不器用さの原因を身体機能面や感覚統合の観点から分析し、専門的な視点で保護者に分かりやすく説明している。	・内部、外部研修に参加し、専門的な知識・技術の向上、習得。 ・OTやSTの人員を補充し、多分野で専門的なアプローチが出来るように取り組んでいく。
3	個別での対応のため、お子様とのコミュニケーションが取りやすく、信頼関係を築きやすい。	お子様や保護者に安心感をもってもらえるように職員全員が丁寧なコミュニケーションを行い、明るい雰囲気作りを意識している。	今後も、安心感をもってご利用していただけるように1人1人に対して、丁寧な関わりを行っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別療育のみで他児との関りが無い。	・当事業所では個別での対応をしてほしいという保護者からのニーズが多く、集団療育に関しては他事業所を併用して補っている方が多い。 ・お子様同士の相性やニーズ、ご利用できる時間帯を一致させることが困難。	複数人参加できるイベントを実施し、年齢ごとに時間帯を分けて行うことで、同年代のお子様同士の関りがもてるよう検討していく。
2	保護者同士の交流の場がない。	1時間にご利用できる人数が限られており、対応する職員の人数も考慮すると交流の場を設ける事が困難。	・職員の補充 ・不定期で保護者向けの研修会等を開催し、保護者同士の交流の時間を設けることが出来るよう検討していく。
3	SNSを使った情報発信が不十分。	通常業務が多忙で余裕がない為、SNSを定期的に更新することが難しい。	業務の役割分担を見直し、SNSの担当者を決めて定期的に更新できるように努める。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 発達支援ルーム らいく穂波店

公表日 2025年4月1日

利用児童

数 50名

回収数 50

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	50	0	0	0	とても広く子供もおもいきり遊べ ています。	運動の部屋、学習の部屋どちらも十 分なスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	50	0	0	0	適切だと思います。	人員基準を満たしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている と思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリア フリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思います か。	47	1	0	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いま すか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いま すか。	49	1	0	0	全体的にとても明るいと思いま す	皆様が安心してご利用していただ けるような雰囲気づくりを心がけてい ます。
適切 な支 援の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある 支援が受けられていると思いますか。	49	1	0	0	専門的なアドバイスもいただいて助 かっている。	今後もお子様一人一人に合わせた支 援や助言等をさせていただきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内 容と合っていると思いますか。	48	1	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観 的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画） が作成されていると思いますか。	49	0	0	1	課題などをしっかり計画に入れて支 援してもらっている	保護者のニーズやお子様の課題を把 握し、スタッフと共有して計画に組 み込んでいます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライ ンの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、 「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必 要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定さ れていると思いますか。	45	3	0	2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いま すか。	48	1	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	46	4	0	0		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動す る機会がありますか。	19	4	15	12	小学校と他のデイサービスでまか なっていますが、個人的にはもっと他 の子供達と出会ってほしい。	皆様のニーズを確認していき、ス タッフ間で協議したうえで、他の児 童との交流の機会を検討していきま
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営规程、支援プログラム、利用者負担等 について丁寧な説明がありましたか。	49	1	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がな されましたか。	49	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・ト レーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が 行われていますか。	36	2	4	8		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の 状況について共通理解ができていますか。	49	1	0	0	いつも子供たちの悩みや課題に寄り 添っていただきありがとうございます。	活動終了後には毎回フィードバック や相談対応を行い、お子様の状況等 を共有させていただいています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われています か。	42	4	0	4	活動の最後にアドバイスをいただ いています。	活動終了後のフィードバックにて助言をさせ ていただいています。また、事前にご連絡いた だいた際には別途時間を設け、相談対応をして おります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	49	1	0	0		
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士 の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、 きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の 交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされています か。	9	11	13	17	参加したことがありません。	現在、父母の会や兄弟同士の関わる 場は設けておりません。今後必要で あれば検討していきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	47	2	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	49	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	33	5	2	10		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	50	0	0	0	していると思います。	個人情報はずべてロッカーに保管し、必要な時以外は鍵をかけております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、初動マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	37	3	0	10		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	9	1	21	利用時間が遅い為、他の時間でされていると思っています。	個別教育での対応をしているため、利用者様全員に訓練を実施することが困難となります。そのため、訓練はスタッフのみで行っており、非常時はスタッフの指示に従っていただきますようお願いいたします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	47	0	1	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	44	0	1	5		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	49	1	0	0	母親がついていなくても安心して一人で入っていきます。	今後も保護者様、お子様に安心してご利用していただけるようなサービスを行っていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	49	1	0	0	毎回楽しみにしています。	ありがとうございます。これからも楽しんでいただけるプランを考えていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	48	1	0	1	今後もよろしく願います。	今後も満足していただけるように努めてまいります。

公表 庁における自己評価結果

事業所名		発達支援ルーム らいく穂波店		公表日		2025年 4月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	運動のプレイルーム、学習室ともに十分なスペースを確保しています		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	5	配置基準を満たしています。	配置基準は満たしているが、人数が最低限しかいないため、午後からの時間帯で担当者会議への参加や連絡対応が困難なケースが多い。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	段差などなく、お子様やご家族にも配慮した環境になっています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎朝清掃をしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	個別療育のみ行っており、お子様1人1人に合わせた環境になっています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	個別支援計画や専門支援計画などで目標を設定し、スタッフ全員が共有できるようにしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	日頃のアセスメントや保護者向け評価表で意向を確認しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	定期的にスタッフミーティングを行い、業務改善への取り組みを共有しています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	現在、第三者による評価は行っておりません。	第三者による評価を検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	外部の研修など積極的に取り入れています。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	支援プログラムを作成し、公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	計画を作成する前に個別にアセスメントをとり、ニーズや課題を把握しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	児発管だけでなく他のスタッフの意見も参考にしながら計画を作成しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	スタッフ全員が計画を確認し、プログラムに組み込んでいます。		
	15	こどもの過剰行動の状況と、標準化したツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	保護者が他所でWISKやビネーの検査を受けた際などにはその結果を頂いている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	ガイドラインの内容に沿って計画を作成するようにしています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	利用児ごとに計画書で目標の共通理解を行い、プログラムを考えています。	スタッフ間での意見交換の機会を増やす。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	ルールなどを変え、お子様が楽しんで参加できるように工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	基本個別療育のみを行っていますが、ニーズがあれば集団療育も取り入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	共有が必要な時は事前に打ち合わせを行っております。	毎回の打ち合わせは出来ていないため、なるべく時間をとって打ち合わせを行い、支援を行っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	支援の様子や内容を詳しく記録に残し、全員が確認できるようにしています。	記録での共有だけでなく、直接意見を共有する時間を設けていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	支援終了後に必ず記録をとっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	3か月に1回程度モニタリングを行い、計画の見直しを行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	6	0	「4つの基本活動」を意識しながら、日常生活に必要なマナーやコミュニケーションスキルをSSTの中で習得する機会を提供しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	活動の内容やルールをお子様と一緒に考える機会を作り、どういった遊びにするか、どのような道具が必要かなど自分で考え、相手に伝える練習を行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	その時に子供の状況を一番把握できているスタッフが参加するようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	担当者会議や電話などで他事業所や園、学校との連携をとっています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	当事業所が送迎を行っていないため、学校の様子や事業所での様子の共有での連絡を主に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	他児の担当者会議の際などに現在の様子の共有をすることがある。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	まだ移行した利用者はいないが、今後対象者がいた場合は情報を提供する予定。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	児童発達支援センターと関わる機会は現在ありません。	今後、児童発達支援センターとの関りも検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	個別療育のみ行っているため、他のお子様と関わる機会はありません。	スタッフ数や保護者のニーズ等を確認し、必要であれば検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5	現在、参加できておりません。	今後、参加を検討していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	活動終了後に毎回フィードバックを行い、現状を確認し課題等の共通理解を行っております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	フィードバックの時や個別支援計画の説明の際に自宅でも取り組めるトレーニングを紹介しています。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	初回契約時に説明を行っております。		
37	放課後等デイサービス提供を円滑にする際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	日頃のフィードバックや、定期的にとっているアセスメントを通して意向を確認しています。		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	計画を渡す時には保護者にわかりやすく説明を行い、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	保護者からの要望に応じてアドバイスや相談対応を行っております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	6	保護者会等は現在行っていません。必要であれば検討していきます。	利用児の兄弟同士の関りがあるイベントなどを検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情などがあつた際に迅速に対応できるよう責任者を配置しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	イベントや1か月ごとのスケジュールなどSNSで定期的に発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報が記載しているものは全てロッカーに鍵をかけて保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	利用者に合わせたコミュニケーションを意識しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	地域の方々を招くイベントは現在行っておりません。	必要に応じて検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	マニュアルを策定し、訓練を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	BCPを策定し、定期的に避難訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	利用前のアセスメントにて保護者に確認を行っております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3	食事の提供を行っていません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画を作成し、安全管理に配慮した運営を行っております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	取り組み内容を掲示して、周知していきます。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハットがあつた際は、職員間で共有し再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待防止のための研修を定期的実施しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	契約の際に重要事項説明書に記載し、周知しています。		